



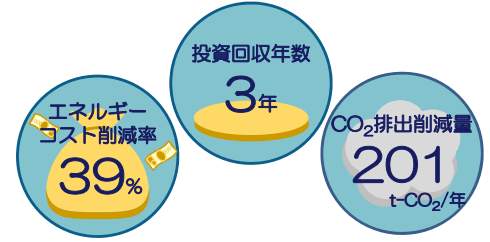
B&Bパansion箱根



概要

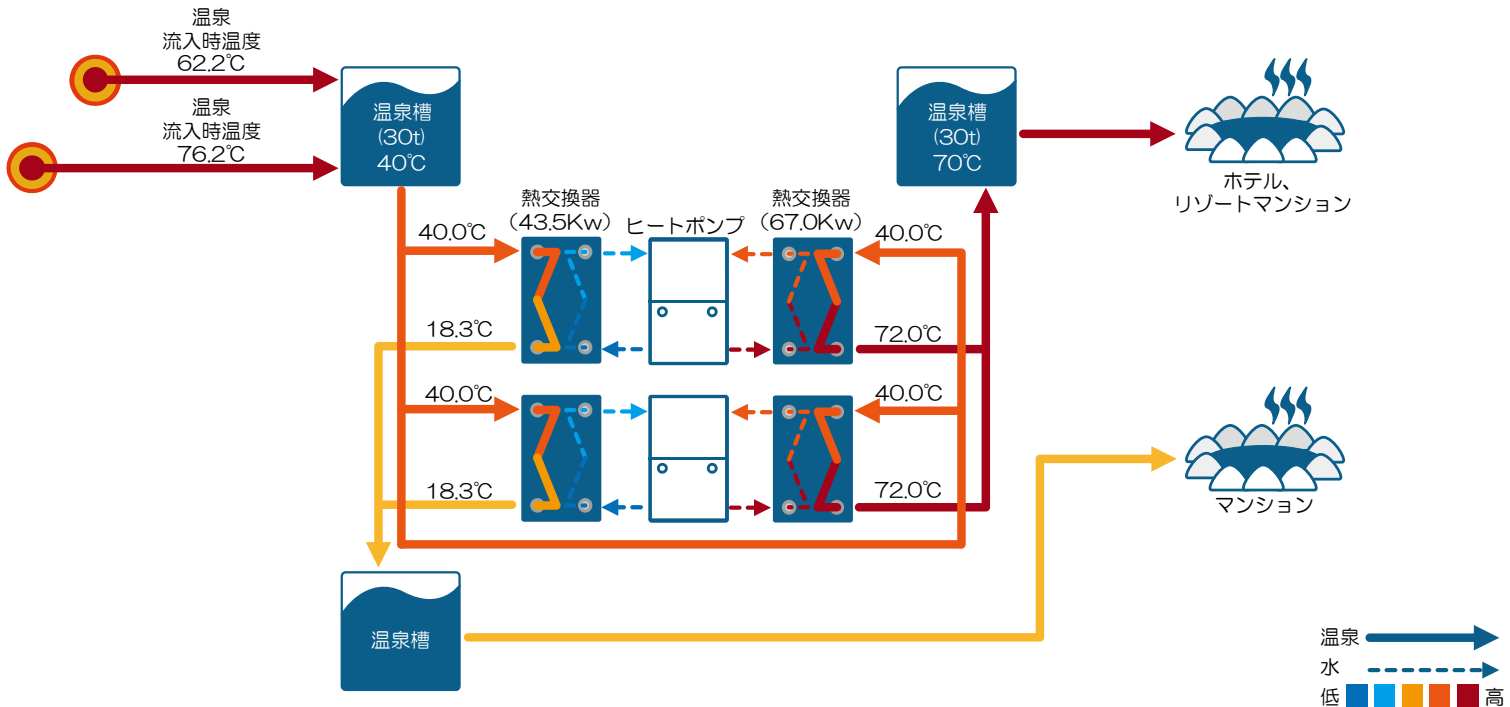
温泉の一部をヒートポンプの熱源として高温の温水を作り、温泉と熱交換させ、温泉の昇温に利用することで、もともとボイラー熱源での昇温に消費していた燃料の削減を図った。昇温した温泉や熱交換に利用した温泉は、周辺ホテルやマンションに配湯している。（※B&Bパansion箱根は2018年3月31日をもって営業終了し、社員寮に用途変更しているが、温泉熱供給先および温泉熱利用システムは現状も使用している）

所在地	神奈川県足柄下郡箱根町
泉質	単純温泉、塩化物泉
温泉温度	76.2℃
利用温度	40℃
利用温泉	既存温泉
総事業費	3,800万円（一部補助金あり）



※エネルギーコスト削減効果、CO₂排出量削減効果、投資回収年数は、ヒアリング先による推定値（重油使用量削減による効果）

主な温泉熱利用方法のシステム図



導入の流れ

実施体制

